特別企画
インタビュー

アンチエイジングアワード2012受賞記念

受賞者：
片岡仁左衛門

松尾　通（会長）
中原悦夫（常任理事・編集委員長）
田島伸也（副会長）
加藤タキ（2009受賞者）

●日時：2012年5月19日（土）
●場所：ホテルグランコート名古屋

「松嶋屋」屋号の由縁は

松尾　片岡仁左衛門さん．今回ご縁がありまして，2012年度アンチエイジングアワード受賞おめでとうございます．

片岡　ありがとうございます．近藤昌嗣大会長の独断と偏見で決められたと伺っております（笑）．

松尾　アンチエイジングアワードは，今回が6回目になります．受賞者は，初回が俳優の辰巳琢郎さん，2回目が女優の五大路子さん，3回目がコーディネーターの加藤タキさん，4回目が俳優の加山雄三さんです．それから，5回目は会場が札幌で，美容家の佐伯チズさんです．

学会の授賞条件として，まず，いい年の刻み方をしているということ．二つ目は，社会的に知名度があって，活躍されているということ．最後に，心身ともに，そして歯科的にも健康であること，別に虫歯の診査をするわけではありませんが（笑）．以上が選考基準です．

中原　仁左衛門さん，本日は本当におめでとうございます．インタビュアーを仰せつかった中原です．どうぞよろしくお願いいたします．

まず，「松嶋屋」という屋号の由縁といいますか，どういう理由でついたのでしょうか．

片岡　それがあまり定かでないんですよ．ただ，その昔，松尾芭蕉さんの「松島や　ああ松島や　松島や」という句を私の先祖が気に入って，そこからつけたという説があるんですが，それとて定かではないんです．

中原　歌舞伎ファンの方でも，意外とそういうことを知らないので，興味津々で，まず最初に聞かせていただきました．

以前，澤村藤十郎さんが倒れられたときに，励ます会を開き，仲間で集まり食事して，それから澤村さんのご自宅までお邪魔したことがあります．当時，私は髪をオールバックにしておりまして，澤村さんによく似ていたようです．実際，何人かに見間違えられました．「そこまで元気になられたんですね」と言われて，冗談で言っているから冗談で返していいのかなと思ったら，本当に見間違えられていたということがありました．

片岡　そう言われると本当に似ておられます．

健康管理と生きがい

中原　さて，仁左衛門さんの過去の御略歴を拝見しますと，50代でちょっと体調を悪くされていた時期があったようですが，その頃から今まで，健康管理といいますか，アンチエイジングといいますか，何かなされていましたでしょうか．

片岡　それが特にしていないんですよ．本当，していないですね（笑）．

中原　息子さんかお孫さんと，キャッチボールをされていた姿を見かけたという話を聞いたことがあるのですが．

片岡　私が若いときには，新橋演舞場の横の公園で，よくキャッチボールをしていました．でもそれは若いときのことで，年をとってからはほとんどしておりません．今は家の前で，ボール投げをしたり，あるいは家の中で生活に必要なことをするぐらいです．

中原　現在，普段気をつけていることはありませんか．

Nizaemon Kataoka

- 本名：片岡孝夫，1944年3月14日生まれ，屋号：松嶋屋，十三代目片岡仁左衛門の三男．
- 1949年9月大阪「夏祭浪花鑑」の市松で本名の片岡孝夫で初舞台．1964年父の旗揚げした仁左衛門歌舞伎で「女殺油地獄」の与兵衛を初役で出世芸となる．1998年歌舞伎座にて「廓文章」の伊左衛門，「助六曲輪初花櫻」の助六ほかで十五代目片岡仁左衛門を襲名．
- 立役，現代の歌舞伎を代表する俳優．背が高く，すっきりした容姿と美貌で華のある芸風．新歌舞伎の知性的な役に至るまで，幅広い芸域で活躍している．
- 1987年日本芸術院賞，2006年紫綬褒章，芸術院会員，2010年第13回坪内逍遙大賞．

松尾　通先生　　片岡仁左衛門さん　　中原悦夫先生

田島伸也先生　　加藤タキさん　　金子　紳先生

片岡　運動は特にないですね.

中原　歌舞伎のけいこの場面とか，舞台に20日以上連続で出られたりとか，非常に細やかな動きの中にも立ったり座ったりというすごい動きがあって，素人目には，相当負担になるのではないかと見ているのですが.

片岡　私たちは子役の頃からやっていますので，動きは別に苦にならないものです．ただ，お恥ずかしい話，やはり膝というのは歌舞伎の職業病といいますか….

中原　やはりそうですね．皆さん，そうなんですか.

片岡　多いですよ．みんなとは言いませんけれども，多いですね.

中原　いきなり床にすっと座ったり，そこからすっと立ち上がったり.

片岡　そうですね．洋物は大体，上へ上へと行きますけれども，日本のものは重心を下へ下へともって行きますからね．一番苦しい姿勢が一番きれいな姿勢だったりしますから，どうしても無理をかけています．個人差はありますけれども，やはり膝にきますね.

中原　アスリートと比較してはなんですが，毎日，体を動かしていないと動かなくなるものですか.

片岡　そうですね．お休みをしていますと，やはり初日近辺には汗の量が違いますね.

中原　お酒のほうは？

片岡　好きですね（笑）.

中原　どれぐらいお飲みになるのでしょうか.

片岡　日によって違いますが，大体2合ぐらいです．やはり飲めるときは調子がいいんです.

中原　バロメーターなんですね.

片岡　はい，自分で「ちょっと今日は…」と思うときはやめますしね．調子が悪かったら，グラスの底に残った少しのお酒も飲めないですもん．普通なら，こんなのは「もったいない，もったいない」と（笑）．ですから，無理をしないことですね．無理をしないで，自由に，そして楽しくということですね.

中原　皆さん，やはり楽しさとか，そういうことに最終的にはどこかで気づいておられるんですね．楽しいことが自分でわかっておられて，少しずつ調整する.

片岡　そうですね．まあ，みんな一緒でしょう.

中原　お孫さん，この前デビューされて，一緒に出られましたよね．実は直前に林真理子さんからネタをいただきまして，今はお孫さんが一つの生きがいになっているということをお伺いしたのですが.

片岡　そうですね．私はいつ死んでもいいと思っていたんです．人間，一度は死にますしね．でも，孫ができると，やはりこの子の将来のために，ちょっと死ねないなという気になりましたね．息子は，もう勝手にしなさいと思いますが.

中原　やはりお孫さんによって，改めてご自身のやりがいを見つける方が意外と多いように感じますね.

片岡　そうでしょうね．皆さん，そうじゃないですかね.

上方歌舞伎と江戸歌舞伎の違い

中原　話が戻りますが，女形と男形というのは？

片岡　立役（たちやく）ですね.

中原　それはどのように選ばれるのか．何か基準があるのでしょうか.

片岡　それはなんとなくですね．ただ，両方やる人もいらっしゃいます.

中原　仁左衛門さんは両方ですか.

片岡　私が女形をやるときには，加役（かやく）といいまして，立役の人が務めるような女形です．ですから，普通のきれいな，芸者さんとか町娘とか，そういうのはやったことがないですね．もちろん子役の頃には両方やるんですよ．そのうち，なんとなくすーっと決まっていくんですね.

ですから，尾上菊之助君は大体女形で育っていますけれども，今はだんだん立役もやるようになってきました．今，尾上菊五郎さんもそうなんです．女形だったんですけれども，途中から立役もやられています．ですから，両方兼ねる．中村勘三郎さんもそうですし，そういう役者さんは多いですね.

中原　上方歌舞伎と江戸歌舞伎の違いはなんでしょうか．仁左衛門さんは両方でやられていますが．

片岡　まず，大きく分けて江戸の歌舞伎というのは，格好いいところばかりが残っているわけですよ．黙阿弥物でも，現在上演されているのは格好いいところばかりです．本当はもっと長くて，人間の弱いところなども描いているのですが，そういうところはどんどんカットしていって，格好いいところばかりになっています．

中原　見せ場が違うということですか．

片岡　ええ．大阪の狂言というのは，人間の弱いところを結構やるんです．ですから，ものによっては男も結構だらしなかったりして，むしろ女性が母性本能をくすぐられるような男が二枚目ですので．

中原　それでは当然，表現も変わってきますよね．

片岡　変わってきますね．大きく分けて江戸の芝居というのは，役者を見せる．関西は，その芝居のドラマを見せるということです．それが大きな違いですね．

中原　歴史的には，一時，上方が衰退といいますか，そういう時期がありましたが，今は盛り返してきているという感じでしょうか．

片岡　昔，大阪で白井松次郎と大谷竹次郎が，松と竹で松竹を創業しました．そして，弟の竹次郎さんが東京松竹株式会社の社長になって，江戸歌舞伎を守られて，関西はお兄さんが守られた．ところが残念ながら，亡くなられてからは衰退し，関西歌舞伎という劇壇は完全になくなりました．

ただ，現在は一時期に比べ，だいぶ公演を打てるようにはなりました．私たちが子役の頃，中供（ちゅうども）といって大人になる前は，京都の顔見世だけは毎年やっていたんですが，今度いつ仕事があるかわからないという状況でした．子役の頃は，大人になったら食べていけないということで，仕事を考えましたね．いや，笑い事じゃないですよ．

松尾　でも，今は関西で毎年，仁左衛門さんの座で恒例でやっていらっしゃるでしょう．

片岡　私は年間に８カ月，働かせていただいているんです．そのうちの２カ月ないしは３カ月が関西です．

松尾　坂東玉三郎さんと一緒にやられて，大ヒットした芝居がありましたね．

片岡　「桜姫東文章」ですか．

松尾　そうです，そうです．即日完売という．

片岡　いや，そこまではいかないですよ（笑）．

松尾　私，あの芝居がすごく記憶に残っているんですよね．

片岡　あれはアメリカでもやったんですよ．ニューヨーク，ワシントン，ロサンゼルスで．

歌舞伎役者でなかったら

加藤　先ほど，もしかすると大きくなったときには歌舞伎役者の仕事はないかもしれないから，ほかの仕事も考えたとのことでしたが，歌舞伎役者でなかったら何になっていらっしゃいましたか．

片岡　映画に行こうかと思いました．当時，映画が全盛期でしたから．市川雷蔵さん，勝新太郎さん，萬屋錦之介さんなどが活躍されていました．映画会社の方に紹介してもらったんですが，「あなたには，スターになる要素がないからやめなさい」と言われたんですよ（笑）．

また，私は三味線が好きだったのですが，三味線のプロになるには今からでは遅すぎると言われました．

中原　三味線は何歳ぐらいからですか．

片岡　遅かったんです．たしなみ程度に中学生ぐらいからですね．中学３年生か高校生ぐらいの時に転職を考えたのですが，それからプロになろうと思っても，それは遅いと言われて．お恥ずかしい話，学費も払えないものですから，中退です．

田島　歌舞伎には子役があるのと同じように，老け役がありますよね．アンチエイジングということからいいまして，老け役をやるときの心構えといいますか，年を重ねないとできない役といいますか，そういうものは何かおあり

でしょうか.

片岡　年寄りをやるときには，自然とそういう格好になりますよね．心得というよりも，なんとなくその役に入ってしまうんです．若いときに若い役をやるよりも，年をとってからやるほうが，若さの色気というものが出るようになってくる．ここが歌舞伎の強いところなんです．若い役は若い人にしかできないということになると，歌舞伎はやっていけないですよ．若いぴちぴちしたのもまた素敵だし，だんだんと熟してきたのもいいし，お客様もその段階で楽しめるんです．

芸というものが少しわかってきたり，あるいは身近なところでは，においとか，肌で感じるとかがわかるようになってくると，段階を楽しめるようになるんじゃないでしょうか．

中原　最後に，日本アンチエイジング歯科学会にふさわしいお言葉をいただきました．ありがとうございました．